

ユニバーサルな展覧会

～「手でみる造型展」in熊本～

問い 誰もが鑑賞できる展覧会はないの？
熊本で、30年前から行われている展覧会についてご紹介します。



手で触って鑑賞する美術館「ギャラリー・TOM」（東京）の
開館記念誌より引用

手で触って鑑賞する展覧会の発祥（外国）

★1917年からイギリスやアメリカでハンドリングセッション
という子どもや視覚障害者が触って鑑賞できる機会がありました

★1969年 スtockホルム国立近代美術館

「盲人と晴眼者のための彫刻展」

1969年6月12日から8月31日（2カ月間）

全館真っ暗な中に彫刻（大理石彫刻やデュシャンの「泉」）が配置され、
手すりを伝って会場を回り、触ってみるもので、会場から出ると写真パネル
があり、触ってみたものがなんであったかわかるという趣向でした

手で触って鑑賞する展覧会の発祥（日本）

★公益社団法人日本彫刻会「日彫展」では

1967年から、視覚障害がある人に対する鑑賞支援に取り組んでいます

★美術館での開催は

1979年西武美術館「手で見る展覧会」

1989年名古屋市美術館「触れる喜び 手で見る彫刻展」

1989年兵庫県立近代美術館「フォーム・イン・アートー触覚による表現ー」など

★1984年には手で触って鑑賞できる美術館「ギャラリー・TOM」が開館しました

熊本における「手でみる造型展」

★第一回展 1990年 9月11日(火)から23日(日)

熊本県立劇場テアトロギャラリーにて

★熊本県文化協会主催

★企画・運営すべて有志による実行委員形式

★郷土の作家の作品のみで構成(34作品)

★観覧無料



熊本県立盲学校小学部児童 お礼状（点字）より

普通は美術館では、ケースに入っていたり、触れなかつたりして、説明してもらえれば分かりますが、はっきりとしたことは分かりません。全体的な形や、どういう表情をしているのか分からないのです。しかし、この度の造型展では、どんな感じがするかなどははっきり分かりました。大変楽しかったです。この手でみる造型展が今年だけでなく、来年も再来年も続けてほしいと思います。

写真、お礼状：「手でみる造型展」第15回展記念誌より引用

出品作品のひろがり

第3回(1993年)から継続して出品

熊本県立盲学校の児童生徒のみなさん

第5回(1995年)のみ出品

本渡デイサービスのみなさん

第7回(1997年)から継続して出品

熊本県立熊本聾学校の児童生徒のみなさん

第15回(2005年)から熊本県立第二高校の生徒のみなさん

他、尚絅短大幼児教育学科の皆さん、球磨工業高校のみなさんなど県内の美術関係、学校関係の皆さんに拡大し、400点ほどの出品数になりました

展示会場のひろがり

第1回 熊本県立劇場

第3回から熊本県立美術館分館(1992年に開館)

第20回、第22回～第25回展 熊本県立美術館本館

第26回以降 熊本県立美術館分館

第12回展以降巡回展を開催

- ・ 天草展(ふれあいスペース如水館)12回展～
- ・ 不知火展(宇城市不知火美術館)13回展～
- ・ 津奈木展(つなぎ美術館)13回展、14回展
- ・ 阿蘇展(ふれあいスペース如水館阿蘇分館)15回展

周年企画・記念事業のひろがり

第10回展、第20回展、第30回展では

会期中の期日に限り常設展の作品に触れて鑑賞することができました



写真:「手でみる造型展」第30回展記念誌より引用

周年企画・記念事業のひろがり

【第30回記念ワークショップ】

令和2年2月5日(水)
参加者 熊本県立盲学校 中学部生徒4名
場所 熊本県立盲学校 美術室
講師 石原昌一 先生(熊大名誉教授)
坂本健 先生(尚絅短大准教授)
内容 土粘土を使った自刻像づくり



写真:「手でみる造型展」第30回展記念誌より引用

生徒の感想

普段使わない粘土で顔の形を作ってみて形を変化させるのが簡単できてとても扱いやすかったと思いました。なので、顔の形が自分がイメージしているように作ることができました。石原先生や、坂本先生がアドバイスしてくださったので、さらに自分のイメージに近くなったと思いました。(中略)今回石膏という新たな作品を作るための手段を知ったので、さらに他の手段で作品を作るやり方も知りたいです。

1960年代から始まり、1990年代に日本でも広がってきた手で触って鑑賞する展覧会ですが、継続しているところは減少し、熊本のように30年間継続しているのは珍しいそうです。主催の熊本県文化協会と実行委員会の皆様のご尽力によって継続する中で、熊本県立盲学校や熊本聾学校では、「手でみる造型展」への出品が学校行事として定着したり、関わる学校関係も広がったりしてきました。誰もが鑑賞できる展覧会として続いていけるように、多くの人に鑑賞してほしいと思います。

2024

「手でみる造型展」第31回展の開催日時

2024年2月14日(水)～18日(日)

熊本県立美術館 本館

天草や不知火にも巡回予定

参考文献

坂本（2023）「手でみる造型展」の省察と展望

手でみる造型展記念誌（15年版、30年版）

手で見るギャラリーTOM開館記念誌（1984）

吉川（2006）「手で見る造型展の意義に関する一考察」